

ジョブコーチってどんな人？ にお答えします

【答える人:主任就労支援コーディネーター堀江】

なかの障害者就労支援ネットワークでは、企業への就職に向けて、ニコニコ事業団が雇用支援センターの役割を担っています。今回のニュースでは、ニコニコ事業団に寄せられる数多くのご質問にお答えし、具体的にジョブコーチのお仕事をお知らせします。

■その1「ジョブコーチって何人いるの？」

現在、4名のジョブコーチがいます。昨年、東京都の市区町村障害者就労支援モデル事業を行っているため、職員は「就労支援コーディネーター」と「生活支援コーディネーター」という役職名で活動しています。この4名がジョブコーチを兼任しています。とても元気で迫力満点の中野のジョブコーチですよ。



■その2「なぜ、生活支援コーディネーターが必要なのですか？」 ビューティフル？なジョブコーチのみなさん

私たちのところにご相談にお見えになる方は、自分で意思決定することにサポートを要するケースが大半です。ですから、日常生活についても何らかのサポートが当然必要になります。安定した就労生活には安定した日常生活が不可欠なのです。ご自分で就職のできる職業的な技能のある方や意思決定のできる方は、ハローワークや民間の職業紹介を通して就職されます。

■その3「具体的にはどのような生活支援をしているのですか？」

利用者個々の状況によって変わります。昨年の事例では、家庭環境、消費者生活、健康に関すること、将来に向けての相談など多岐にわたりましたが、これらの課題が解決しないと職場で安定した仕事ができないという内容です。例えば、深刻な問題としては消費者金融からの借入れによる問題、キャッチセールスの解約、両親や親族の支援を受けられない方の入退院の調整など。細かな問題では、生活習慣が成立していないこと、例えば入浴や歯磨き等の習慣がない、休日に遊びすぎて仕事に支障をきたす、金銭管理ができず浪費してしまうなどの問題が上げられます。

■その4「事業団にいけば就職先を紹介してもらえるのですか？」

違います。私どもは職業のあっ旋権は持っていません。職場実習先をハローワーク新宿等と連携して探して、雇用の段階でハローワークを通して就職をしていただいています。前にも述べましたが、私たちの利用者は就労経験がない方や、何らかの社会適応への課題がある方たちなので職業前のトレーニングのために職場実習をカリキュラムに入れています。面接だけでは見えないご本人の力を企業にみていただき、採用に結び付けるという形態をとっています。

■その5「ジョブコーチは付添い人って感じ？！ですか？」

んーちょっとちがいますね。ジョブコーチの仕事は簡単にいえば利用者者と企業の双方の不安を取り除く役割を果たすことにあります。具体的にお話しますと、以下の7点にまとめられるでしょうか。

- 職場実習先の開拓
- 職場、職務内容の分析(ジョブコーチが実際働く)
- 分析結果をもとに、企業の採用計画へのご提案
- 利用者の希望や職業的能力の把握
- 職場実習のサポート(自立通勤への補助、職場内での実務支援。個別マニュアル作)
- 雇用契約の立会い
- 採用後の定期、随時訪問

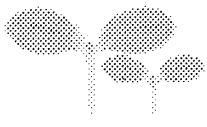
■その6「なにか資格が必要なのですか？」

特にありません。ニコニコ事業団では、平成12、13年度の2か年間、就労支援者派遣事業を行い、独自に採用、養成研修を行いました。その際に、私どもは、福祉の専門家ではなく、社会人としてキャリアのある方たちを採用し、福祉と障害者雇用に関しての研修を行い現在のジョブコーチを育成しました。

■その7「障害者の就労支援は必要でしょうか？」

非常に重要な今後の福祉施策のキーワードであると考えます。支援費支給制度がはじまりましたが、利用者の選択の自由といいながら、絶対的なサービスメニューの不足と既存施設の定員がまもなくオーバーする状況です。施設在籍者の多くは、ジョブコーチの手法をもって就職ができるはずで、現実に「この人は就職できない」といわれた方たちが就職しているのですから。

民生費の対象者であった方たちが、就職することで消費者としての生活を行えるということは、区政や区民の皆さまにも大きく貢献できるのです。



バス停のパン屋さん、フタバベーカリー

なかのでデビュー ……店長の河野高昌さんにその思いを語っていただきました……

私は歯科技工30年程やっていたパン屋です。子供の次男がダウン症で生れて今30才です。親として次男に幸せな人生を送ってもらうには「育てる義務と責任」を感じていました。中学2年の夏、私がパン屋に転職し修業して学校の夏休み冬休み事あるごとに連れて行き卒業したらパン屋になろうネを合言葉に、家族の協力を支えに生れ育った地域で卒業と同時に仲間の協力(鳥山地域ダウン症の会)によって開業することができました。

パン屋ならば近所の方々がパン屋の息子とまず覚えてもらえ、そして買いに来てもらえた上に声をかけられたり、配達をすれば地域と密着した人生の夢がかなうと考えました。そして10年も過ぎれば仲間ができ、親なき後もみんなで安心して共に働ける夢を見て頑張りました。世田谷では社協、福作各団体の行事やバザー等に出店し障害の子供達と直接販売したり、いろいろな販売ルートを作って毎日出かけ皆様に一緒にパン屋をしませんかと社会との交流をはかりながらあいさつを始め、君の作ったパンはどれ、買ってあげるよ、来週又持って来てネ等の会話で本当に夢みたいに社会性が身に付きましたが、パン屋は朝早いので仲間はできませんでした。

個人の店では将来に続けることができませんので世田谷地域で18年間運動をしましたが実らず、今回昨年光明養護学校で知り合ったAさんと中野区のニコニコ事業団の方が当店へ見学方々実習にこられました。そこで、私の安心して働けるパン屋の夢を伝えたところ心当たりがあるとのことで東京コロニーのコロニー印刷所さんをご紹介していただきました。この3月中に機械器具全部を持参し、コロニーで4月から少しずつ焼きはじめ挨拶方々パンを持って廻り、5月1日に中野区役所、社協、各福作学校関係40数名にご来店して頂きオープニングセレモニーをやらせてもらいました。

そして今後は、利用者本位の利用者参画型の仕事、すなわち利用者が何人かではじめから焼き上げ、そして販売まですべてできるようにしていきたいと思っています。私達健常者は何でもできると思ひこんでいます。たしかにできるかも知れませんが皆同じ並びと思います。バリアフリーと言ってハード面すなわち道の段差をなくしたり、車いす等々ありますが、私達が知恵をしぼって、本人達一人ひとりにあたりまえのパン作りや販売ができるようサポートができるようにしたいと、この年になって夢と希望を持って頑張りたいと思っています。どうぞ御指導の程よろしくお願い致します。



◆◆今年のかたちに、 雇用就労部会◆◆

去る、5月11日に第1回雇用就労部会が開催されました。ネットワーク加盟施設の11施設がスマイルなかのに集合。それぞれの思いを語り合いながら、今年度の活動計画を決めました。

- ①パン販売を活用した就業の場の確保と就労訓練を行う
コロニーで焼いたパンを販売、喫茶コーナーをつくり、そこを拠点にして利用者の就業場所を確保し、施設間で協力体制をとりながら運営する。まず、いくつかの先行事例を調査し参考にしなが自分たちにあった方法を検討していく。
- ②NPO法人化の検討を行う
- ③各施設間の情報交換、コミュニケーションを図る
- ④当事者の体験報告会の開催をする

このほかにも、おもしろいのは、体験実習の際はケース会議を開催したい。また、安心できる生活基盤があってこそ安定した就労ができるので、社会資源の掘り起こしや開発をネット内で共通課題として一緒に考えていきたい。

◆◆動き始める、共同受注部会◆◆

東京コロニーの渡辺です。このたび3月の運営会議で共同受注部会長に選任されました。15年度で一定の成果をあげていきたいと考えています。5月に1回目の部会を開催し、①自主製品で「ネットブランド」検討。次回部会で各施設の自主製品を持ち寄る、②生産・受注に必要な情報収集としての施設見学を実施、③受注デリバリー体制で南部は弥生福祉作業所、北部をニコニコ事業団がそれぞれ担当、④情報集約・手配を含めた事務局機能をニコニコ事業団が担当、⑤新規受注開拓のツールとして「障害者施設作業仲介員身分証明書」を発行。そのために中野区障害福祉課と東京商工会議所中野支部にその認定を協力要請、⑥部会の隔月定期開催、などを決めました。

今後は、①各施設の月平均作業量、受注金額、希望作業量などを調査し、施設のニーズと作業能力の把握に努めること、②新規開拓の具体的展開を含めた、受注金額目標の設定、③ホームページの活用、などを課題として本部会の活動を進めていきたいと考えています。

中野区愛育会(手をつなぐ親の会)にとって、社会福祉法人を取得し「障害者が住みなれたこの地域で安定した働く場、生活する場を作りたい」長い間の願いでした。平成12年の社会福祉法改正により小規模通所授産施設の条件が緩和され、資産も1000万円あれば法人取得が可能となりました。愛育会は4ヶ所の作業所を法内化し、法人取得をするため会員はもとより、まわりの皆様のご協力、中野区のご尽力によって、平成14年12月12日社会福祉法人中野あいいく会設立のはこびとなりました。平成15年1月16日、野方WIZで発会式を開催、オープニングに杉の子作業所利用者の和太鼓の演奏があり、中野区長はじめ大勢のご来賓のご祝辞をいただきました。

愛育会は、任意団体である親の会中野区愛育会と、新たに社会的に認められた社会福祉法人あいいく会とが車の両輪のように活動を展開することができるようになりました。中野区内には障害者の施設を運営する法人として愛成会、東京コロニーがあり長い間の実績と大きな組織をもった大先輩がいらっしゃいます。私共も第三の法人としてお仲間入りしたわけです。基盤も弱く、生れたての法人ですべてがこれからですが、中野区の障害者福祉の一翼を担えるようにがんばりたいと思っています。どうか先輩の法人はじめ、就労ネットワークの皆さん、区民のみなさんのお力添えをお願いいたします。

就労支援ネットワーク会議要約(23回～25回)

第23回 1月29日開催

- ◆ネットワークミーリングリストの開始に伴う進行状況について
ML一覧配布。H15年3月まで有償パソコンサポーター配置。愛育会の法人本部もメール使用可能になる。東京コロニーデジタルメディア部門、中野に移転。活用していく。
- ◆平成15年ネットワークの運営計画の作成について
都内6カ所NWあり、NPO法人化している所もある。中野も検討できるように方向性をつけていく。各事業所の課題整理をし、取り組んで欲しい内容を伝え検討する。
- ◆企業内授産生の募集
2月上旬、新木場作業所の見学会の実施。

第24回 3月20日開催

- ◆中野区の組織改正について
15年4月1日より組織改正。福祉事業課→高齢福祉課、障害福祉課が設置。保健福祉相談所→保健福祉センター名称統一。3月23日発行の区報に詳細掲載。
- ◆支援費制度に向けての中野区の現況・各窓口事業所一覧配置。詳細はHPにて閲覧可能。
- ◆授産活性化事業の結果報告について・3月13日行われた地域NWモデル地区報告会資料配布。
- ◆ネットワーク運営要綱の一部改正について
NW参加施設一覧配布。社協、福祉団体連合会について確認後、加入であれば改正。
- ◆役員及び運営体制の変更について・副会長 事業団杉田氏退職に伴い、後任の事業団事務局長に依頼。
共同受注 長沢氏→渡辺氏
- ◆平成15年度NW運営計画案及び収支予算案について承認。
- ◆情報提供、その他・東京コロニーパンの製造販売開始。販路拡大、運営方法について検討中。

第25回 5月22日開催

- ◆中野区福祉団体連合会のNW加入について
加入を承認。22団体が加入となる。社協の加入については検討中。
- ◆各部門の事業計画について
共同受注部会→デリバリー体制の整備、ネットブランドの自主製品の開発。
雇用就労部会→パン販売を活用した就労の場の確保。NPO法人化の検討。
- ◆副会長選任→障害者福祉事業団事務局長歌津氏を選任、共同受注部会担当。
- ◆報告事項
・バス停のパン屋さん→メンバー参加の日中制作、午後販売の検討。
・企業内授産の現況→14名の作業生。新宿、杉並区からも受け入れていく。
・「江古田の森」構想について→国立病院の区有地にPFI方式にて福祉施設を整備。
- ◆情報提供
・6/29 愛育会「おんがくかんしょうかい」 ・7/24 働くことを考える講座 開催

編集
後記

◆ネットワークの中で「おいしい!」と評判だった「バス停のパン屋さん」がオープンして2ヶ月経ちました。企業就労が不安な方や、重い障害を持った方たちの就労の場が広がりそうでとても楽しみ。店舗を増やして多くの方が就労できるようネットワークでも協力し、中野を代表するパン屋さんになるといいなと思っています。(石川)

